

土佐派絵画資料目録(七)

画帖(一)

1. 本目録は本館所蔵の「土佐派絵画資料」（収蔵番号：三〇〇一）のうち粉本の一部を収録するものである。収録の対象としたのは画帖の一部であり、動物の写生図を含む資料を選んだ。昭和28年に作成された「土佐家粉本目録」（旧目録）の整理番号を本目録に示しておいた。
2. 目録は解説、目録本編、索引から構成されており、収録資料には全て通番を打ち目録番号を与えた。「1鳥虫画帖」は画帖を解体し、画帖の形態時に外側にあたる台紙から内側の台紙に向かって紙番号を与え、画帖形式時の旧頁数も付している。各紙面ごとに紙片の貼り込み状況を示す図を付し、台紙への図・墨書と、貼り込まれた紙片に紙片番号を与え区別できるようにした。紙片番号は旧頁数と旧頁内での通番号で構成され「0」は台紙を示している。また画帖の旧状を理解しやすくするために、旧頁数に従った画帖旧状図を付して、解体前を再現した。
3. 目録本編のデータ記載は目録番号、品名、形状、頁数、旧目録番号を示した後、画帖を構成する各紙面ごとに、材質、法量（台紙の縦×横、単位はセンチメートル。一括できる場合は適当な箇所を示した。）を示し、貼り込まれた各紙片ごとに年紀、作者、墨書の順に配列している。印章については画帖の頁単位で末尾に示した。ただし、割印については印のかかる紙の区別を示す。備考については必要に応じた箇所に*を付して示した。データのない項目は省略している。
4. 墨書の表記について、（欠）は欠失して読めないもの、■は判読不能またはシミケシのもの、ミセケシは当該位置に示している。
5. 索引については、墨書と印章の内容と判明する限りの画題を取り上げた。動植物名については基本的に北地直子氏の同定に従った。各見出し語には項目に応じて分類記号を付け利用の便を図った。〈鳥〉は禽鳥名を、〈植〉は植物名を、〈魚〉は魚介類名を、〈虫〉は虫類名を、〈動〉は哺乳類爬虫類等の動物名を、〈人〉は人名を、〈地〉は地名を、〈印〉は印影を示している。索引に示す数字は、資料番号―紙数（オは表、ウは裏を指す）を基本としているが、「1鳥虫画帖」についての（ ）中に紙片番号を示した。ただし、〈印〉に分類されたものについては旧頁番号のみを示している。
6. 資料の配列は利用の便を考慮しているが、特に一貫した方針を持つものではない。
7. 本目録に収録した資料は、撮影（白黒）、補修とも全て終了している。
8. 目録の編集は次の者が担当した。

榊原吉郎（本学教授）

大須賀潔（本館学芸員）

松尾芳樹（本館学芸員）

北地直子（本学大学院生）

目次

粉本について―再考―	……………	神原吉郎	4
画帖(一) 目録	……………		8
1 鳥虫画帖	一帖(十六紙)	(外―十五)	
2 写生帖	一帖(十七紙)	(外―七)	
3 動物写生図巻	一卷(五紙)	(二〇六)	
近世土佐派の画帖と写生	……………	松尾芳樹	50
土佐派画帖に描かれた動植物名一覽	……………	北地直子	58
索引	……………		63